

道徳の授業を参観される皆様へ（1年生）

資料名「夜のくだもの屋」

～人の心の温かさにふれ、他の人々に対し思いやりの心をもつ～

資料の内容は

少女は合唱部のコンクールに向けた練習で帰りが遅く、真っ暗な道を帰る日が続いてしまう。心細さを紛らわすために歌いながら歩く少女は、ある日からくだもの屋のあかりに守られて帰宅するようになりました。

後日、少女はくだもの屋が自分のために営業時間を延長してくれていたことを知ります。そのときの少女の感謝の心とくだもの屋の思いやりの心を結び付けて、あたたかい人間愛を感じとらせていきます。

授業のねらいは

人にやさしく親切にした経験や、親切にされた経験を振り返り、くだもの屋のおばさんが主人公の少女に対して行った思いやりのある行動を見つけ、本当の“思いやり”のある行動とは気持ちについて考えていきます。授業の終わりでは、東京都道徳教育教材集「心みつめて」の「思いやり」ってなんだろう？を読み、今後、誰に対してもやさしく接するために大切にしたいことをそれぞれ考えていきます。



協議会では

授業の後、視聴覚室で協議会を行います。

協議会のテーマは、「生徒の思考を深める発問の工夫について」と生徒の「思いやり」です。

ぜひご参加ください。